

企業理念

Mission — 企業理念

優れたテクノロジーを、親しみやすく

世の中は技術革新によって目まぐるしい進歩を続けます。

企業・社会が持続的な成長を為すには、先進技術をいち早く取り入れる必要がある一方、正しい使い方を見極めて徹底活用しなければ望んだ効果は得られません。

私たちJBSは、お客さまに寄り添い、お客さまにとって必要な技術を最適な形で届け続けることで、技術革新がもたらす企業・社会の持続的成長に貢献してまいります。

Vision — 目指す姿

社会のデジタル変革をリードする No.1クラウドインテグレーター

働き方の変化やダイバーシティ等の加速により、

世界中の社会・経済の在り方が大きく変わろうとしています。

すべてのプレイヤーが

社会課題の解決に必要なビジネスモデルの確立や構造改革に取り組むべき時代です。

このチャレンジをスピーディに遂行するためには、

お客さま自身がテクノロジーを理解し、自らデジタル変革を起こしていく必要があります。

私たちJBSはクラウド活用のプロフェッショナル集団です。

お客さま自身のクラウド活用力を高め

デジタル変革を起こす体制・仕組み作りに貢献できる存在として、

一番にお声がけいただけるパートナーを目指してまいります。

Value — 行動指針

Customer First「お客さまの期待を超える」

お客さまの視点に立ち、主体性を持ってスピーディに行動することで、お客さまの成功につながる最良の解決策を提供します。

Diversity & Inclusion「一人ひとりの個性を大切に」

お客さま、ビジネスパートナー、社員・家族など、関わるすべての人々の個性を尊重します。

Integrity「誠実かつ、ひたむきに」

信頼関係を築くことを大切に、あらゆる活動に真摯に向き合います。

Passion for Technology「情熱を持ってテクノロジーを追求」

テクノロジーに触れたときの感動を忘れずに、無限の可能性を追い続けます。

Commitment to Growth「挑戦と成長」

常に挑戦し、学び、成長し続けます。

JBSの特長

マイクロソフトを中心としたさまざまなソフトを組み合わせたマルチベンダーのシステムによって、お客さまのご要望に最善の形で応えています。

マイクロソフトがパートナーに求める最上位/最高難易度の認定資格である「Azure Expert MSP」を取得しています。マイクロソフト認定資格者数は国内トップクラスです。(3,133名 2022年9月末時点)

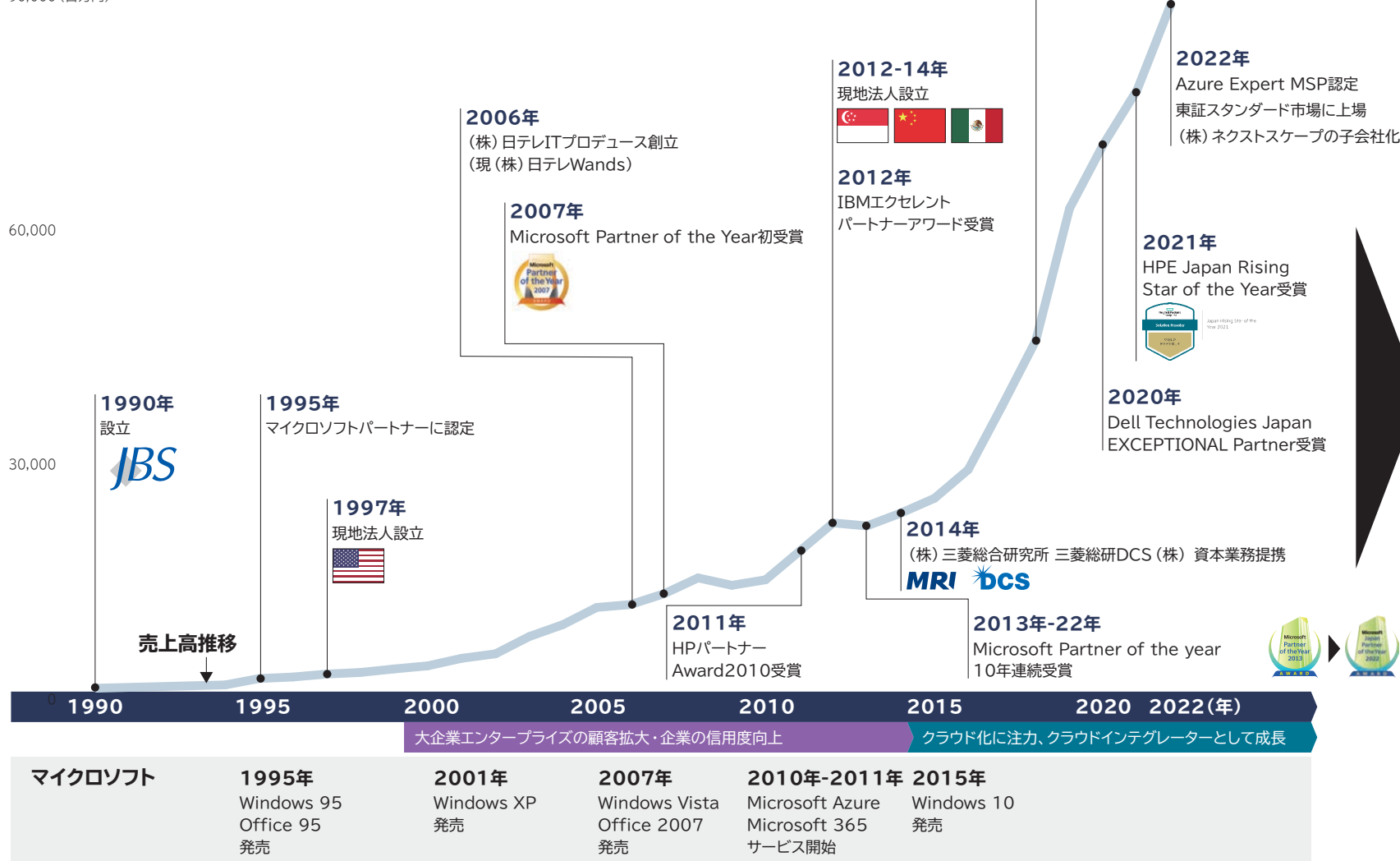


価値創造の歴史

当社は、創業以来、マルチベンダーのシステムを提供する会社として、グローバルで優れた機能・実績を持つ各種ハードウェア・ソフトウェアメーカーと連携しながら、お客さまに最適なソリューションを提供しています。

売上高

90,000 (百万円)



3つの資本形成へ



社会関係資本

- パートナーシップ
- 上流からデザイン
- 幅広い業種業態



人的資本

- クラウドネイティブ
- 研修制度
- 高度な専門性



知的資本

- 技術検証
- 事業開発
- アセット化

競争力の源泉

当社は社会関係資本・人的資本・知的資本の醸成に注力し、新たな社会価値・企業価値の創出や、組織と人材の力を最大限に活かすための制度改革などに取り組み続けることで、競争力を飛躍的に向上させてきました。



社会関係資本

パートナーシップ

世界をリードするテックカンパニーとパートナーシップを組み、数多くのアワードを受賞



上流からデザイン

三菱総合研究所と資本業務提携
テクノロジー利活用の社会価値・企業価値を
上流からデザイン



幅広い業種業態

30年以上にわたるIT支援を通じて、
幅広い業界・業種を代表する
エンタープライズ企業と取引関係を継続
その他 7%

金融・保険 23%

通信・メディア・
サービス・公共 29%

業種別売上比率
(2022年9月期)

製造・流通 41%



人的資本

クラウドネイティブ

クラウドネイティブに資する幅広い資格者が多数在籍

Microsoft Certified 3,133名(延べ人数)

Microsoft MVP 3名

Cisco 108名

HPI 53名

Vmware 93名

Dell 38名

AWS 86名

SAP 20名

研修制度

ITスキル標準 (ITSS) の
「キャリアフレームワークと認定試験・
資格とのマップ」をベースとした
独自の資格取得支援制度と
専用の研修施設を完備

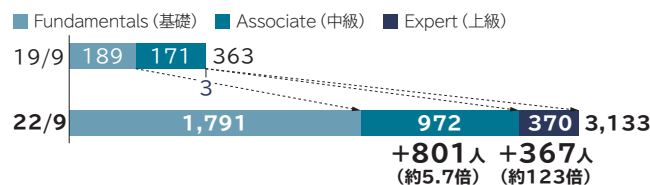
▶ P26「人材育成」へ



高度な専門性

お客さまの期待に応え、
より難しい課題を解決していくために、
上位資格へのランクアップを奨励
専門性を高める環境を整え、上位資格保有者の増加に貢献

マイクロソフト資格者数



知的資本

技術検証

国内で導入実績の少ないテクノロジーや
クラウドサービスを率先して自社の環境に導入・活用し、
お客さまに対して実現性の高い提案を実現

例) ハイブリッドワーク

- デバイス&セキュリティ
ゼロトラストとインターネットブレイクアウトの実現
- コミュニケーション
リモートワークでも活発なコラボレーションの実現
- 業務・基幹システム
ペーパーレス、場所にとらわれない全面クラウド化の実現

事業開発

最新技術×社員アイデアを軸とした事業開発

- 先端技術推進室
データプラットフォームやアナリティクス、コグニティブサービス等の
先端技術を用いた技術検証、等
- Curios Design Award
社員のアイデアコンテストをきっかけに、経営幹部支援の下、
事業化までサポートしていくプログラム
- DXデザインプログラム
SSDCとの協賛により、社会・企業の課題起点で産学官の事業創出を行っていくプログラム

アセット化

パートナー企業のソリューションや
自社開発サービスを蓄積し活用



Main Brand JBS Cloud Suite
パートナーが提唱し世界的に実証されているCAF (Cloud Adoption Framework) 等フレームワークを用いて、企業や組織のクラウドDX推進を可能にする統合ソリューションブランド



Sub Brand 1 Cloud Premium Services
クラウドによる戦略策定支援および、厳選されたソリューションの
組み合わせによる成果最大化を目的とした設計・計画・導入・管理
方針策定のワンストップソリューションブランド

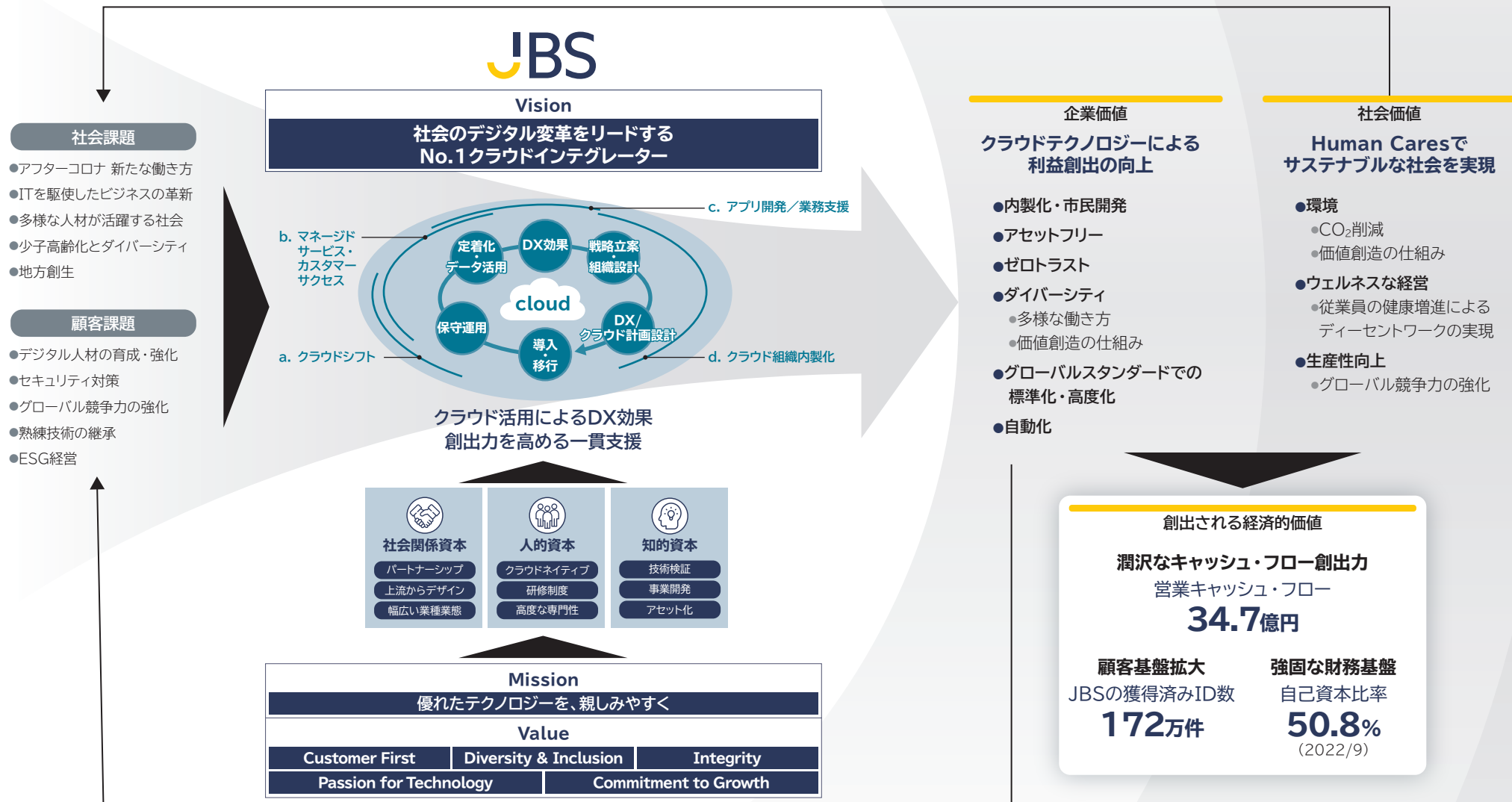


Sub Brand 2 Smart Cloud Controller
ライセンス購入や運用管理の支援に加え、Microsoft Azureを
はじめとするさまざまなクラウドサービスの可視化・分析を行う
サービスブランド

▶ 詳細はP21「特集2『JBS Cloud Suite』」へ

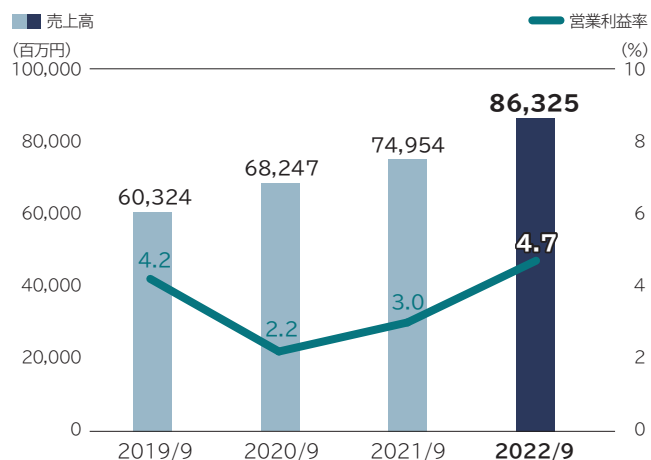
価値創造プロセス

当社は、クラウドを用いた継続的なDX効果創出支援を通じて、
お客さまのビジネス成果およびサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

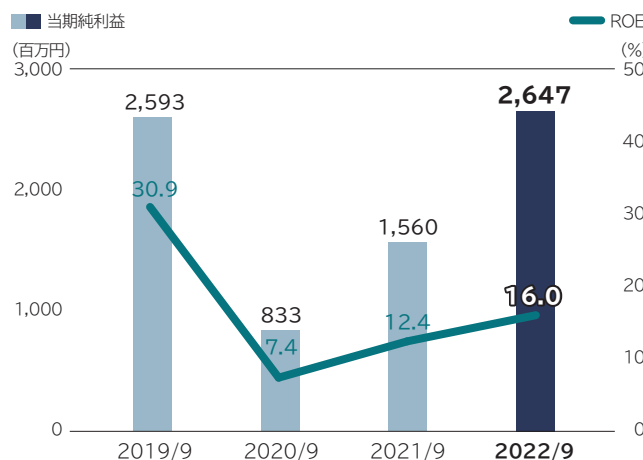


財務ハイライト

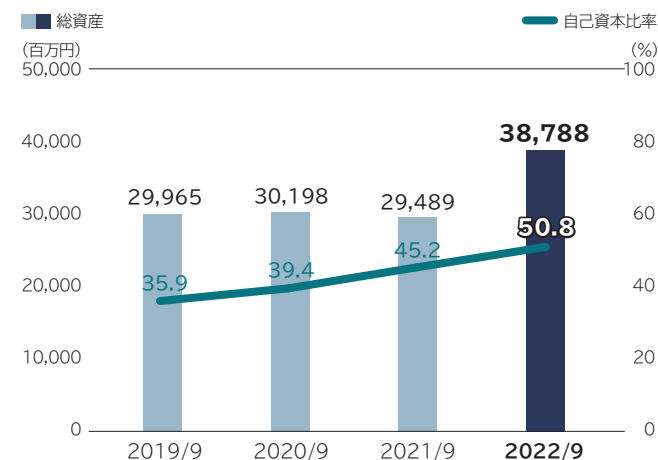
売上高／営業利益率



当期純利益／ROE



総資産／自己資本比率



財務ハイライト解説

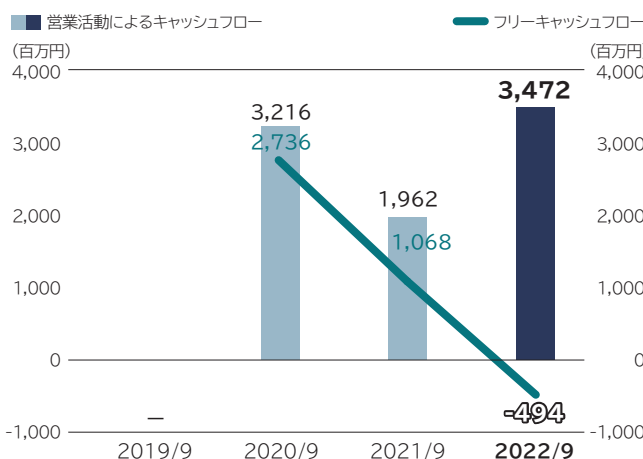
旺盛なDX需要を背景としたクラウドシフトの加速を受け、クラウドの導入および利活用が順調に拡大し、売上高は前期比115%の863億25百万円となりました。

また、稼働率の向上およびビジネスパートナーの活用拡大が収益性の改善に寄与し、営業利益は前期比178%の40億52百万円となり、営業利益率においては、前期実績の3.0%から大きく改善し、4.7%となりました。

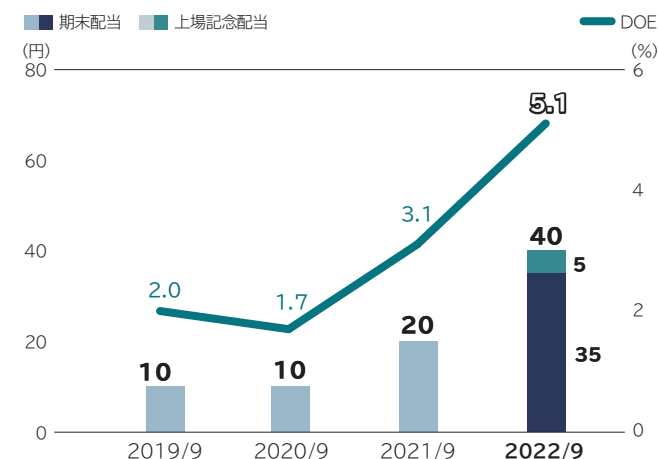
好調な業績を受け、営業キャッシュフローは、前期比177%の34億72百万円となったほか、自己資本比率は50.8%に向上しました。

株主還元においては、ROEが16%に上昇し、前期より大幅増配となる1株当たり40円の配当を実施しています。

営業もしくは、フリーキャッシュフロー



一株当たりの配当金／純資産配当率(DOE)

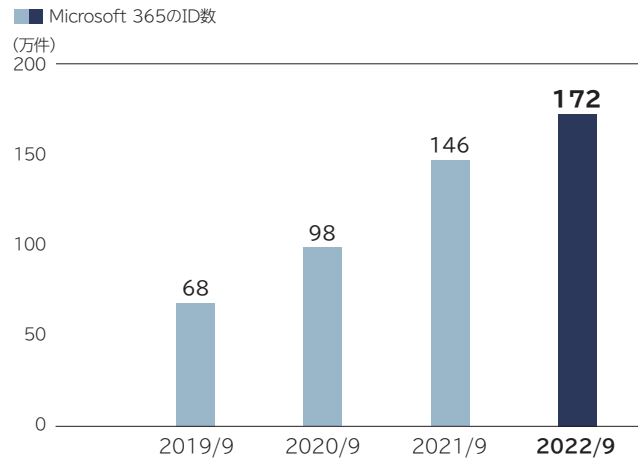


※1 2022年6月3日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。分割前の実績は当該分割が行われたと仮定して算出しています。

※2 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しております。上記においては、当該分割は加味しておりません。

非財務ハイライト

JBSの獲得済みID数

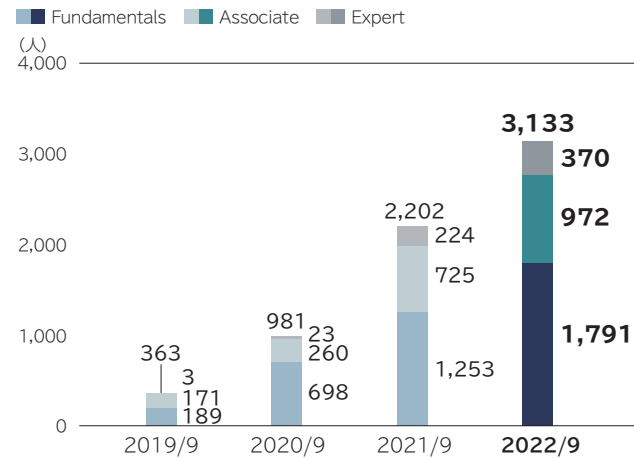


非財務ハイライト解説

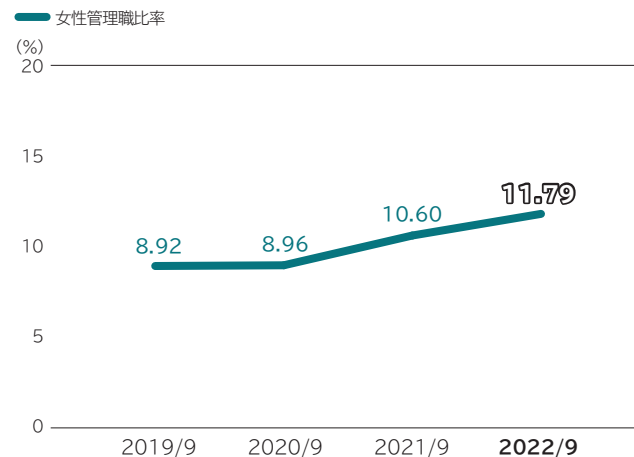
当社の成長戦略において、もっとも重要な指標の1つであるMicrosoft 365のID数は、大手エンタープライズへの積極的な営業施策により、既存顧客におけるクラウド利用拡大に加え、新規の大口契約を獲得した結果、前期比117%の172万IDとなりました。今後も顧客のクラウドサービスの利用範囲拡大に向けた顧客深耕を継続するとともに、新たなID数の獲得による顧客基盤の拡大を進めていきます。

また、当社では女性活躍の推進に向けた取り組みを積極的に進めており、「えるぼし」最高位の3つ星認定および「トモニ」を取得しています。同時に、誰もが働きやすい労働環境づくりの推進などにより、女性従業員比率および女性管理職比率は年々増加しています。

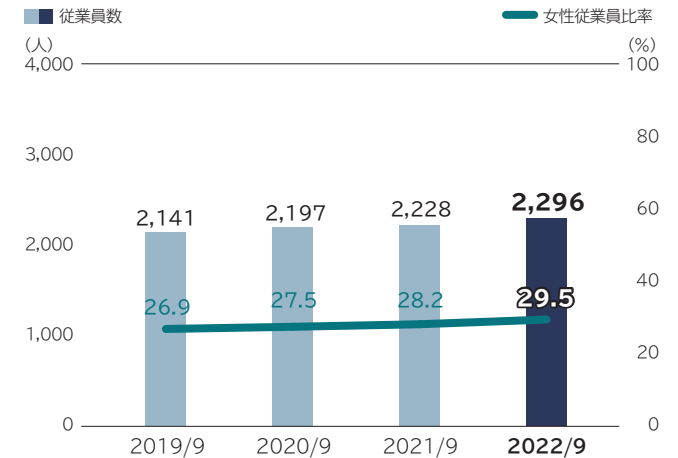
マイクロソフト資格者数



女性管理職比率



従業員数／女性従業員比率



取締役／社外取締役比率

